



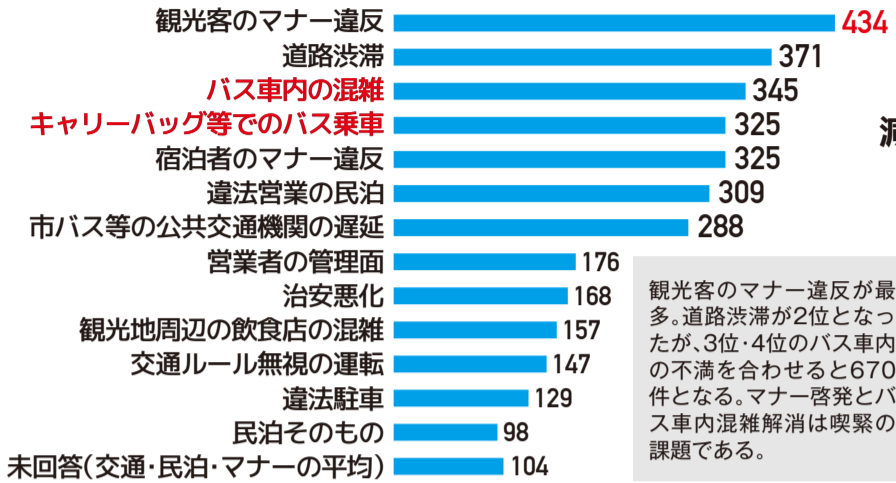
# 地域政党京都党

## 地域政党京都党 市議員団ニュース Vol.6

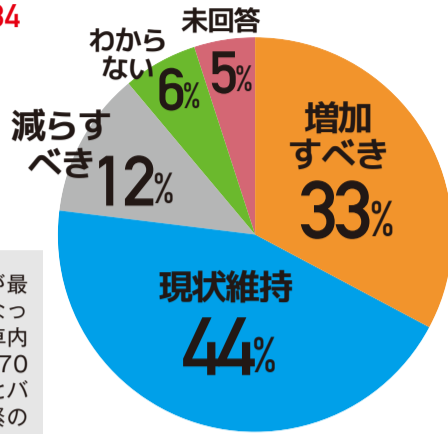
地域政党京都党 市議員団  
〒604-0925 京都市中京区  
寺町通御池上る上本能寺前町488  
TEL 075-222-4035  
FAX 075-213-3301

VOL.06  
発行:平成30年3月21日  
発行人:江村理紗

www.kyoto-to.com



観光客のマナー違反が最多。道路渋滞が2位となったが、3位・4位のバス車内の不満を合わせると670件となる。マナー啓発とバス車内混雑解消は喫緊の課題である。



今後の観光客数について、どう思いますか？

昨今の京都市内の観光客増は「観光客が多すぎる」という不満になっていると感じる。そこで、地域政党京都党は市民の「観光客」に対する率直な御意見を伺うため独自に「観光客

### 京都党独自でアンケートを実施！ 市民の観光客に対する本音と今後の対策

に対する市民意識調査を実施した。本調査は、1月20日から2月5日まで17日間かけて684人の方に協力いただいた。

「観光客が増えていることについてはどのように感じているか」という点については全体の62%の方が、「とても良い」「良い」とご回答いただいたもの、「今後も観光客は増加させるべきだと思いますか?」という設問については、「現状維持」と答えた方が44%と一番多く、「減らすべき」が12%であり「もうこれ以上は増えてほしくない」という方が半分を占める。「不満」と感じる項目については、下記表からも「マナーに関すること」と「バス車内混雑」「道路渋滞」の3つに集中していることがアンケートから判明した。そこで私たちは、市民の足を阻害させないための「市バスにおける生活路線と観光路線の棲み分け」と事業者向けのガイドラインの作成と徹底的に宿泊者に対してマナーを守ってもらうよう指導する「宿泊者のマナー啓発」の2点を市長に提案した。日常生活を行う市民の負担軽減をするための施策を選択と集中で行うことが引き続き肝要である。

(2018年2月23日代表質問要旨)

### 地域政党京都党 市議員団メンバー



総務消防委員会  
**大津ゆうた**

中京区選出



産業交通水道委員会  
**村山祥栄**

左京区選出



文化環境委員会  
**江村理紗**

右京区選出



保健福祉委員会  
**森かれん**

上京区選出

### 平成29年度 主な質問項目

- 民泊条例審議。民泊は出来る限りの規制を
- 遅れる病児保育整備、事業者の採算改善が必要
- 行政コストを減らして福祉を充実させるSIB手法
- 市営住宅の退去時費用未徴収分が7,000万円

- 大阪サミットの一部を京都で
- 税金0で「京都市考古博物館」を建設せよ!
- 学生の市内就職を～有償インターンシップ推奨～
- お手盛り、山盛りの消防手当を廃止せよ!
- 避難所の要配慮者対策を実施せよ!

- いよいよ宿泊税が導入実現! 市民と観光客が納得し、赤字にならない使い方を
- 市民しんぶんの配布は市民負担の軽減を! 民間委託も視野に。
- AEDマップのさらなる充実! 24時間体制に引き続き、京都府との情報連携、山間部へも配慮を。

- 水道料金徴収事業に民間活力の導入を
- 市バス乗降時間の短縮に向けて～1日バス乗車券カードのデザイン変更を～
- 子育てと仕事の両立不安解消へ～テレワークの推進とイクボス実践～

## “ 市民しんぶんの配布方法を見直すべし。市民負担の軽減を！ ”

区役所の窓口も年度の切り替わりの際には配り手確保の説得に苦勞している一方、見直しへの腰は重いため、改めて市の広報担当に指摘をした。広報担当は、負担軽減を求める声は把握しているとのことだが、市民による配布にこだわりたいと言う。しかし、現在の市民(市政協力委員＝主に町内会長)による配布は、自治会加入者にのみ配布の負担が発生し、高齢化などで配り手も減少傾向で、区民版もあわせ月2回の配布に追われる状況は明らかに高負担かつ不公平である。配布率が86%に留まることも、市民周知にこだわる広報誌として配布の在り方を考えるべきだ。

市政協力委員には地域の声を行政に届ける重要な役割がある。改めて業者委託を提案した。(3.2 予算委員会)

## “ 市施設で法令違反！災害時に使う非常用電源の違法状態が発覚！！ ”

災害等で停電した際に、電気を確保するのが非常用電源。スプリンクラーや消火栓のポンプの稼働をはじめ、二次災害を防ぐ大きな役割がある。東日本大震災や阪神大震災でも点検不備で始動しなかった事例が多く発生した。この非常用電源は、ディーゼルエンジンで動くものが多く、消防法で年に一度、30%負荷を掛けて異常がないかを確認する法定点検が義務付けられている。

あろうことか、京都市の区役所や文化施設などの多数の施設で法定点検が出来ておらず、違反状態であることが京都党の指摘でわかった。いざ、災害などの有事に非常用電源が始動しなければ甚大に被害に繋がる恐れがあり、法を遵守し適切な点検を行うよう是正を求めた。(3.9 市長総括質疑)

## 京都党の指摘で実現しました！！

実現!

### 商業施設への投票所設置

投票率向上の取組みとしてデパートなどの商業施設への投票場設置を求めてきた。右京区限定だが、府知事選にてイオン

モール五条で期日前投票が試行的に実施される。



実現!

### 病児保育所の拡充

病児保育の地域偏在の問題と拡充を訴えてきた。府市協調の一環として、府立医大に病児保育の地域枠が設けられることになった。丸太町通より北では初。



実現!

### マップでAEDを24H使える場所が一目瞭然に！

119通報のピークは22時。しかし、公共施設内に設置されているAEDは夜間には使えないことが多い。指摘により心筋梗塞の多い早朝・夜間対応のAEDの設置場所がマップで分かるようになった！



実現!

### 水素自動車事業廃止

トヨタ「ミライ」を2780万円で3台買い、年間795万円を掛けて委託し、市民にレンタルを実施していたが、レンタルした人

89人と超低迷。指摘し、今年度廃止となった。



## 芸術大学移転は是なのか？

(3.12 市長総括質疑)

京都市立芸術大学の京都駅前移転計画が本格化する。しかし、京都駅前移転は本当に必要だろうか。駅前開発は都市の命運を決める。移転候補地は駅前の超希少立地で、大阪でいえばうめきたヤードにあたる。うめきたヤードにはグランフロントをはじめ壮大な開発プロジェクトが進んでいるが、そんな立地に大学を造ろうというのが今回の提案だ。芸大の学生数1031人。ちなみに同志社今出川キャンパス2万人、京産大1.3万人で、同規模はノートルダム女学院で1148人だ。極めて小規模で人の流れが出来るとは到底思えない。

土地は最大のパフォーマンスを出せる使い方をする必要があるのである。駅前用地は交通の新拠点を作るとか戦略的施設用地として活用すべきなのだ。

大体、現在の沓掛に芸大が移転する際、梅原猛学長は6.6万㎡以上が絶対に必要だと主張し、当時の敷地は3.4万㎡から沓掛7.5万㎡へ移転した。それがまた3.8万㎡と再び半減する。学生からも広さには不安が聞こえる。しかも、移転後の跡地については白紙のままだ。

今年度は過去最低の財政難だ。そんな中、なぜ移転なのか。建設費250億円、土地の資産価値372億円(公示価格参考)、総コスト約622億円にのぼる事業だ。622億あれば、半世紀以上ごみ袋は無料化できるし、保育園の完全無償化なら10年分になる。昨年度入学者のうち市内在住者27名しかない。京都市民の税金は京都市民にとって最良の再分配を行う必要がある。この実態を踏まえて、妥当な金額かどうか今一度考えねばならない。

